

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表日：2022年10月15日

事業所名

ゆめなーるぶち小池教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習室とプレイルーム、食事のできるスペースなど目的ごとにスペース分けを行っている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準以上の人員が配置されている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		来所してからの身支度の流れを分かりやすく示しており、手洗い・トイレなど幼児に使用しやすい高さになっている。全体的に目が行き届く幼児にちょうど良い空間を作っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の朝晩の掃除にて、エタノール、次亜塩素酸での消毒に加え、消毒が難しいおもちゃ類はUV、オゾン消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日ミーティングにより、前日の問題点の抽出から、業務改善を日々行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		実行されている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月初ミーティングにて、職員研修を実施している。	研修の質の向上に努めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の作成を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画を職員全員が目を通し、どのような形で支援していくか支援者会議を行った上で支援にあたっている為、個々にあった支援ができています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員全員で案を出し合い、どのような活動にするかを決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		数か月前までの内容を確認し、日々の活動や集団療育案を出し合い、固定化しないよう工夫している。また、季節の行事も取り入れるようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○		日々の人数やメンバーによりプログラム内容を考えて提供している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日のミーティングにおいて、人数・送迎担当・活動内容の確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日のミーティングにおいて、前日の問題点を振り返って、改善につなげている。	会議議事録を定期的に見直して、事業所の問題点の抽出と改善をします。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ヒヤリハットや情報共有ノートを活用している。	ゆめなーる稲沢教室との連携も高めていきます。
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者が、職員全員より聞き取りを行った上で参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		送迎時の保育園の担任の先生より状況を確認している。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	該当しない	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	該当しない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		担当者会議などで、支援内容等の情報共有を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		県福祉課、市福祉課、相談支援事業所と連携している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	現状、コロナ禍により、行っていない。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	○		研修に参加している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡帳、LINE、送迎時にお伝えしている。また、ブログで活動の様子をUPしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		要望があれば導入します。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。	丁寧に対応しているつもりにならないように、説明の仕方を改善します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		要望があれば導入します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者から相談や申し入れがあった際には、早急に支援者会議を開き、対応策を決めている。また、対応方法について詳細に保護者に伝えるようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月々の予定表を配布している。また、ブログも公開している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		鍵付き書庫、防犯カメラにて管理している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		要望があれば導入します。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアル等も策定し、定期的の実施しているが、保護者周知が足りなかった。	保護者周知のために、保護者向けのハンドブックを作成中です。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練の他、毎月の防災訓練として紙芝居や災害クイズ等を取り入れています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時のアセスメントにおいて確認しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーのあるお子様に対して、おやつを別に用意して対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告はすべて都度記載し、ファイルで管理している。	共有は随時行っているが、対応策に関してはまだ不十分な点があるので、研修で徹底します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		月初ミーティングにおいて、虐待防止研修を行っており、職員に資料を配布している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約時において説明しておりますが、現状機会はない。	